

地域課題の解決に向けた尾鷲市の考え方

～森林由来のJ-クレジット活用編～

令和7年2月
三重県尾鷲市役所水産農林課
高村 彰宏



尾鷲市の地域課題（森林）

- ・ 高齢化と人口減少

尾鷲市の高齢化率・・・**46%**（地域によっては89%）

人 口 減 少・・・**15,600人**（1980年時31,000人）

- ・ 地域経済の減退（林業）

尾鷲市の林業従事者 **40人**

尾鷲ヒノキの価格（立米） **12,000円**（最大値42,947円）

- ・ 自然災害への脆弱性

近年、山林災害が全国的にも多発しており、この地域でも山崩れが年々、増加傾向にあります。森林所有者の山への興味がなくなり、放置林の増加が山林災害の要因の一つと言えます。また、山自体の活力が減退していることも事実で、本来は、天然林と人工林が混在し、山由来の栄養が生まれるはずが、大半が人工林であり、下層植生が繁茂しないことから、土壌流出が起き山の減退に繋がっています。

尾鷲市の取り組み

基本的な考え方

○尾鷲市ゼロカーボンシティ宣言の内容

「22世紀に向けたサステナブルシティの実現」

- * 100年後にこの美しいふるさと尾鷲を引き継いでいく
- * そのために「**脱炭素**」と「**教育**」を柱とした施策を展開する
- * 気候変動だけではなく、**生物多様性の回復**といった世界課題にも向き合う。

具体的な取り組み（3本の柱）

①**脱炭素（炭素固定）**

= 森林資源、海洋資源の
環境価値の可視化(J-クレジット)

②脱炭素（排出削減）

= 市域内での二酸化炭素
排出量削減の取り組み

③教育

= 自然資源を生かした新
しい教育モデルの検討

尾鷲市の取り組み 企業との連携

尾鷲市がこれから企業とともに目指していくゼロカーボンシティのあり方

第一次産業における環境価値の創出

尾鷲市

- ・農 業 : みどりの食料システム戦略に基づく有機栽培の推進
- ・林 業 : **新たな森林管理の模索と生態系の回復**
- ・水産業 : 藻場再生を通じた水生生物の生息地の確保

自然環境フィールドの提供

- ・ゼロカーボンシティ宣言
- ・生物多様性のための30by30アライアンスの登録
- ・SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ加盟
など

評 価

第三者機関の評価
吸収量算定値、生物多様性等

企業価値の創出
新規事業創出

企
業

- ・企業のIR(investor relations) 株主や投資家への経営・活動状況の開示
- ・TNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)
- ・サステナビリティレポートの作成

尾鷲市有林でのクレジット算定

市有林でのJークレジット創出想定表									
		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目
手続き年度	市有林面積	令和5年度分	令和6年度分	令和7年度分	令和8年度分	令和9年度分	令和10年度分	令和11年度分	令和12年度分
クレジット 認証月		R6年11月 (R7年3月)	R7年11月or R8年3月	R8年11月or R9年3月	R9年11月or R10年3月				
R4-R6	人工林90ha	551 t-co2	551 t-co2	551 t-co2	551 t-co2	545 t-co2	539 t-co2	536 t-co2	533 t-co2
	天然林1,228ha	598 t-co2	693 t-co2	632 t-co2	634 t-co2	593 t-co2	596 t-co2	526 t-co2	357 t-co2
R7-R8	人工林200ha		1,500 t-co2	1,500 t-co2	1,500 t-co2	1,488 t-co2	1,476 t-co2	1,468 t-co2	1,460 t-co2
R9-R10	人工林300ha			2,250 t-co2	2,250 t-co2	2,232 t-co2	2,214 t-co2	2,203 t-co2	2,192 t-co2
R11-R12	人工林223ha				1,650 t-co2	1,636 t-co2	1,622 t-co2	1,614 t-co2	1,606 t-co2
	人工林 813ha 天然林1,228ha	1,149 t-co2	2,744 t-co2	4,933 t-co2	6,585 t-co2	6,494 t-co2	6,447 t-co2	6,347 t-co2	6,148 t-co2
数値は、現時点での最大想定値であり、確定値ではありません。									

尾鷲市のJ-クレジットの活用事例

SINRAプロジェクトの活用事例について

令和5年8月から、株式会社paramitaが運営する「SINRA」プロジェクトにおいて、**ブロックチェーン**上にてデジタルアート（バタフライエフェクト）に、尾鷲市のJ-クレジットを紐づけた**NFT**を販売している。
J-クレジットを企業だけでなく個人にも販売することとなり、**関係人口の創出**につなげる。

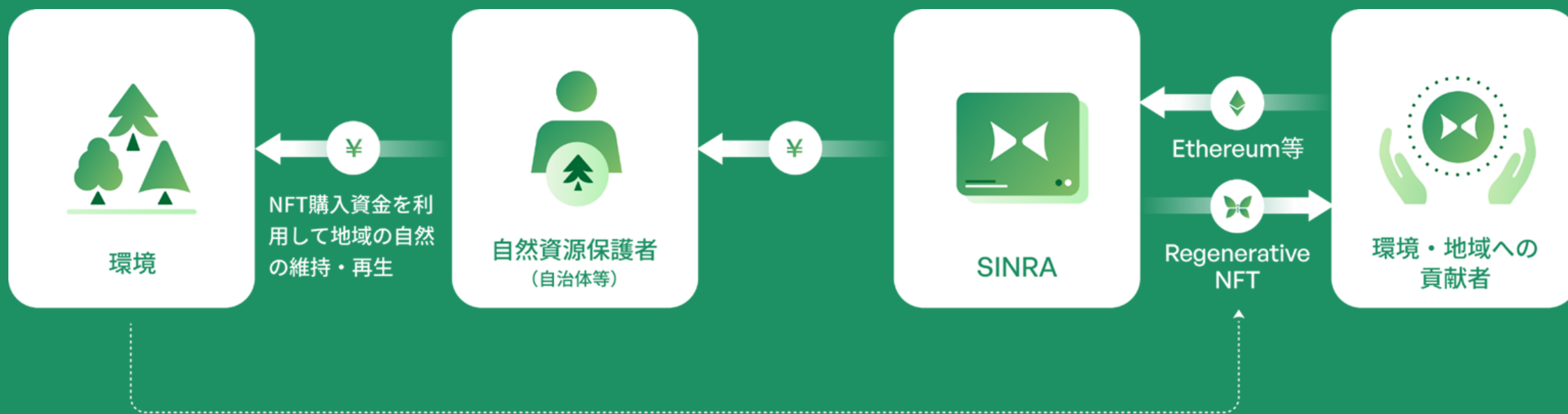
令和5年度 SINRAプロジェクトによるJ-クレジット販売実績

278 t-co2 (令和6年3月25日時点)

(内訳) 購入者数 : 190 (件)
購入者最小数 : 1 t-co2
購入者最大数 : 10 t-co2



J-クレジットと連動した森林管理システム構築→民間へ波及



Jクレジットなどの環境価値創出時には“Regenerative NFT”に
カーボンのクレジットの保有権が付与される

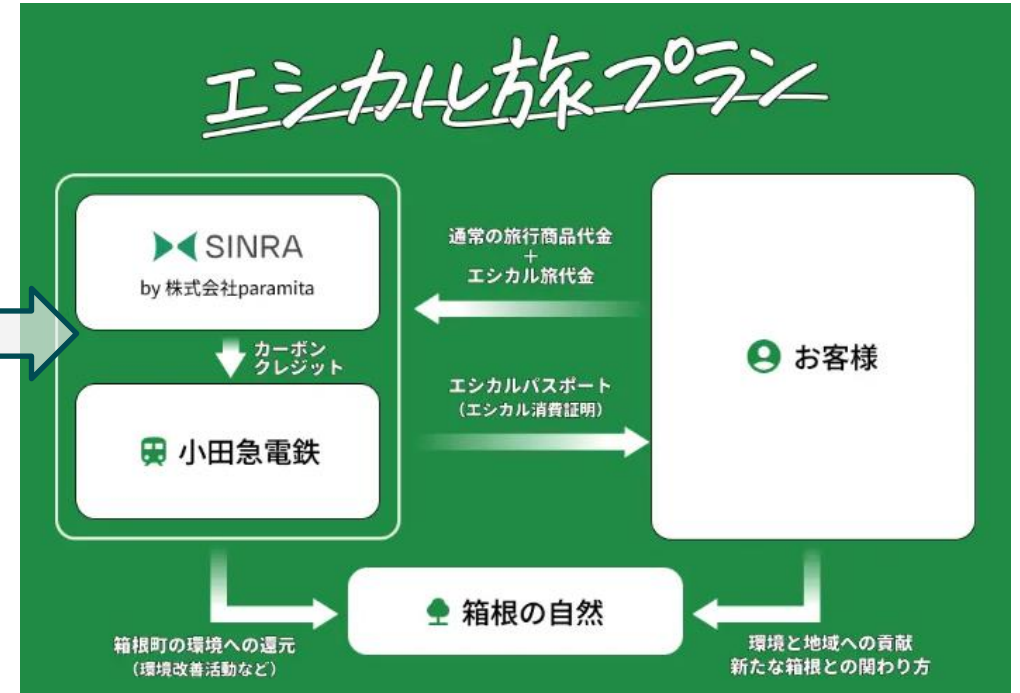
尾鷲市のJ-クレジットの活用事例



「エシカル引越」とは

「エシカル引越」は、通常の引越料金に1,000円(税込)を追加することで、引越に伴う二酸化炭素排出量をオフセット(相殺)できる仕組みです。お客様からいただいた1,000円は、2024年7月31日にサカイ引越センターが協定を締結した三重県尾鷲市の森林保全や生態系の再生活動に役立てられます。

尾鷲市のJ-クレジット

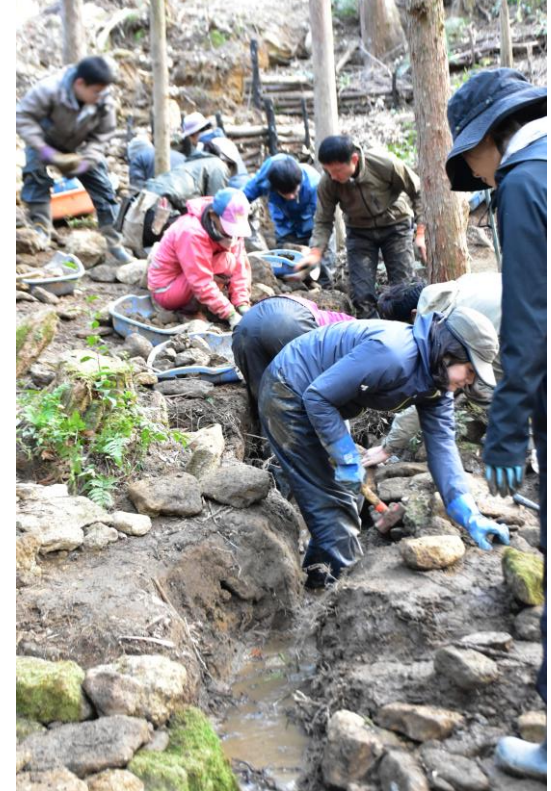


「エシカル旅プラン」について

「エシカル旅プラン」は、通常の箱根旅行商品代金に加えてエシカル旅行代金1,000円を支払うことで、箱根でのバスや、宿泊、食事に伴い発生するCO2をオフセットして、環境に配慮しながら旅を楽しむプランです。

尾鷲市のJ-クレジットの創出事例

関係人口の創出



S I N R A N F T 保有者だけではなく、市内外問わず多くの企業・個人が尾鷲の森林を舞台に森林の改善に携わっていただいた。



尾鷲の森で挑戦しませんか